

2014 Vol.2 特集「広がる学力格差への多様な取り組み」へのご意見

このコーナーでは、編集部寄せられた読者の先生方からのご意見をご紹介します。

*『VIEW21』中学版のバックナンバーは「ベネッセ教育総合研究所」ウェブサイト(<http://berd.benesse.jp/>)でご覧いただけます。

◎学力格差は本校でも大きな課題であり、今回の特集は大変参考になりました。昨年度から学習支援ボランティア(保護者及び地域住民)を活用し、放課後学習会を週2回実施しています。教員はもとより、学習支援ボランティアにも特集の情報を提供し、学力向上に向けた取り組みの一助としたいと考えています。[北海道/R中学校]

◎低学力層の底上げは、学校の努力が必要ですが、小学校時代に学習習慣を身に付けておくことと、家庭に学習する環境と時間がしっかり確保されていることが、学力向上に不可欠だと考えます。「土台なくして家建たず」です。その意味で、青森市立沖館中学校の実践はとても参考になりました。校長のリーダーシップと教員のチームワークが、学力向上への学校の一体感を生み、生徒への好影響につながったのだと思います。[東京都/K中学校]

◎現任校が抱える課題に、立川市立立川第一中学校の補習の取り組みが参考になりました。試験に特化した学習会や補習は、取り組みの成果が目に見えやすいので、成績下位層も意欲が高まると考えます。ただ、試験前には会議が多いため、校務のスリム化などの方策も、同時に必要だと感じました。[宮城県/D中学校]

◎朝倉市立十文字中学校の取り組みが参考になりました。「上位層がけん引する学校づくりで、全体を底上げ」という視点は、本校でも取り組みたいと思っていたからです。特に、難関大キャンパス訪問は、私にはない発想で、非常に参考になりました。[埼玉県/K中学校]

◎特集の対談で、奈須正裕教授の「学習が苦手な生徒は、必ずしも学習をしていないのではなく、学習の方略に課題がある」という指摘に、意欲はあるけれども成績が伸びない生徒と、意欲そのものがない生徒に対するアプローチを分けて考える重要性を実感しました。[東京都/O中学校]

◎「私を育てたあの時代、あの出会い」で、人を育てる大切さに共感しました。また、育ててもらったことに感謝できる人が、人を育てられるのだと思います。「お陰様で」という言葉を忘れず、日々、頑張っていきたいと思っています。[福島県/K中学校]

◎これからは「公立だから」「私立だから」とは言っていない時代になると思います。その意味で、「Benesse 発 これからの教育」で紹介された「グローバル・リーダーの育成」は、公立校でも工夫して実践すべきではないでしょうか。特に、卒業時の研究論文は、教員の思い1つで取り組めると思いました。[福岡県/H中学校]

◎特別企画の「～英語教育で大切なこと」にあった「中学校で英語を使う機会を増やし…」というのは同感ですが、「何に使うのか」「使えたらどうなるのか」を生徒にイメージさせるのは難しい面もあります。修学旅行を英語圏にする、ALTの派遣数を増やすなどの方策を試行できればと思いました。[千葉県/K中学校]

◎「ミドルリーダーの挑戦」で、学び合いを目指して試行錯誤し、生徒の指摘で挫折したという高塚将吾先生が、学び合いに再挑戦し、異学年・全校へと発展させようとしている点に感心し、その実践に驚きました。「理念を丁寧に伝え、生徒が取り組みたくなるような課題を設定し、生徒の気持ちに寄り添った支援」の具体的な内容を知りたくなりました。[長野県/I中学校]

◎「色とりどりの学びの情景」で紹介されていた、宮城教育大学附属中学校の「総合的な学習の時間」の計画は理想的だと思いました。3年間掛けて、教室での学びを超えて、活動範囲を広げながら、生徒が自身の生き方を考え、実践力が育てられる。「総合的な学習の時間」の本来の趣旨そのものだと思いますし、本校も少しでも近づけたらと、考えさせられました。[富山県/F中学校]

編集後記

今号の特集は、前号の「広がる学力格差」への対策として、「学び合い」の次に有効という意見が多かった「家庭学習指導の充実」を取り上げました。取材校でも、自学ノートや自習タイムの中で理解度に応じた「家庭学習指導」が出来ていましたし、授業と家庭学習を連動させることで、授業への参加意識が高まり、学習内容への理解度も上がった結果、成績が向上して学習意欲につながるといった好循環が起きていました。特集で取り上げた3校以外にも、家庭学習指導を工夫されている学校は全国にたくさんありましたので、BERD サイトでも紹介していきたいです。

『VIEW21』中学版編集長 草場隆志

VIEW21 中学版 2014 Vol.3

2015年2月27日発行/通巻第323号

発行人 谷山和成
編集人 小泉和義
発行所 (株)ベネッセホールディングス

印刷製本 凸版印刷(株)
編集協力 (有)ペンダコ
執筆協力 中丸満
撮影協力 荒川潤、川上一生、中尾桂介
イラスト協力 カモ、幸剛

◎お問い合わせ先

情報編集室
〒206-0033
東京都多摩市落合1-34
電話 042-311-3390

© Benesse Holdings, Inc. 2015